

合同の能の見透がある。 兵庫録(坂本隆氏) 神戸

統一党と合同は俄多に賛成し難い。 高知録(海野氏)

社民党と対立関係にある。統一協成会と合同は共同戦線と強

くするが全合同は目下の情勢では不可能である。可能なら記

録の合同に進む。 福岡録(浅野氏) 新潟三党合同

賛成 東京録(杉本氏) 地方の情勢と充分考慮する

合同に進む。

一、合同特別委員。越権問題討議

山名合同委員より、合同委員の提唱する所謂三党合同

は之を強制的にするが如く誤解されおる様うた見受けらる。

併し之は政治的に必然的に提唱せざるべからざる事と

提唱す。 福井中央通信委員、岩村委員公、

政治連絡委員会、統制委員会の意見と聴取し、最終に

須永統制委員長より、

一、今回特別合同委員、執るる合同の提唱は平議

上遺憾の点ありと認む。

一、然し提唱する合同は我党の合同方針並みに

党の事情と充分に考慮して之の完成を期す。

の意見見解を表す。右を決議することとなり、午後二時

十分休憩。 同三時開会。 満場一致で右

二項を決議す。

松本合同委員長は右決議を懐疑するも、また此の